

霞ヶ浦高等学校附属中学校  
2020年度 第1回一般入学試験問題

(令和元年12月14日 実施)

## 適性検査Ⅱ

試験時間 45分

### 注 意

- 1 この問題用紙は、「はじめ」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 「はじめ」の合図があったら、最初に受験番号と氏名を書きなさい。
- 3 問題を読むときは、声を出してはいけません。
- 4 答えは、すべて解答欄に書きなさい。
- 5 試験中に計算機(時計についているものもふくむ)、携帯電話やスマートフォンなどの使用はできません。

受 験 番 号	氏 名

1

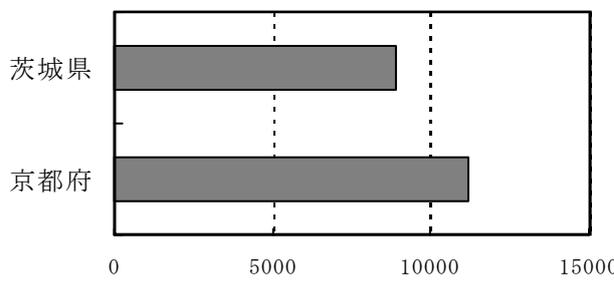
2020年の夏に開さいされる東京オリンピックでは、茨城県の茨城県立カシマサッカースタジアムがサッカー競技会場の一つとなっています。そこで、まなぶさんとはるかさんは、茨城県や自分たちの身の回りのことについて調べています。

まなぶ：カシマサッカースタジアムのある鹿嶋市には、鉄鋼、金属製品や石油化学などの大工場がつくられた鹿島臨海工業地域があるよね。

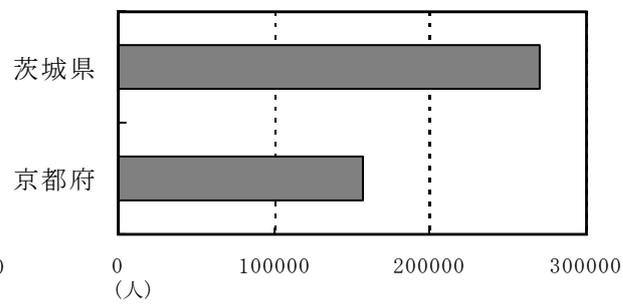
はるか：茨城県全体の工業はどうなのかな。

まなぶ：工業関係の資料を見て、京都府と比べてみよう。

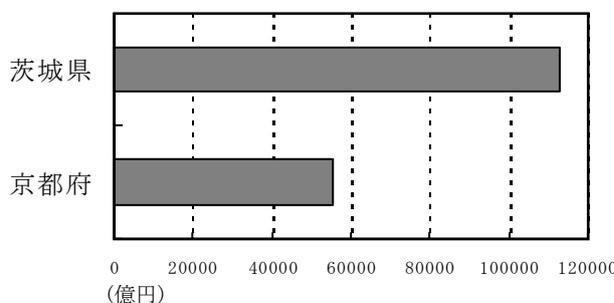
資料1 事業所の数(2017年)



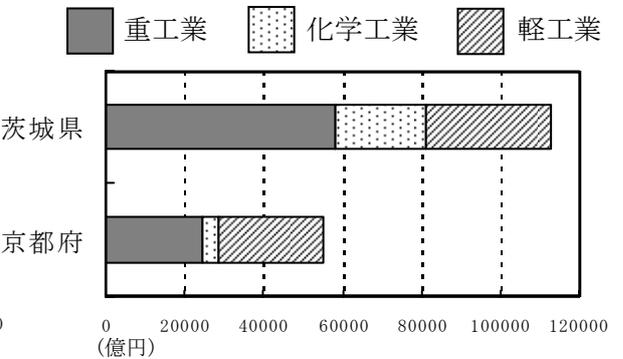
資料2 働く人の数(2017年)



資料3 生産額(2016年)



資料4 工業の種類別生産額(2016年)



(資料1～4は『データでみる県勢2019』より作成)

はるか：茨城県と京都府では、工業の様子がちがっているようだね。

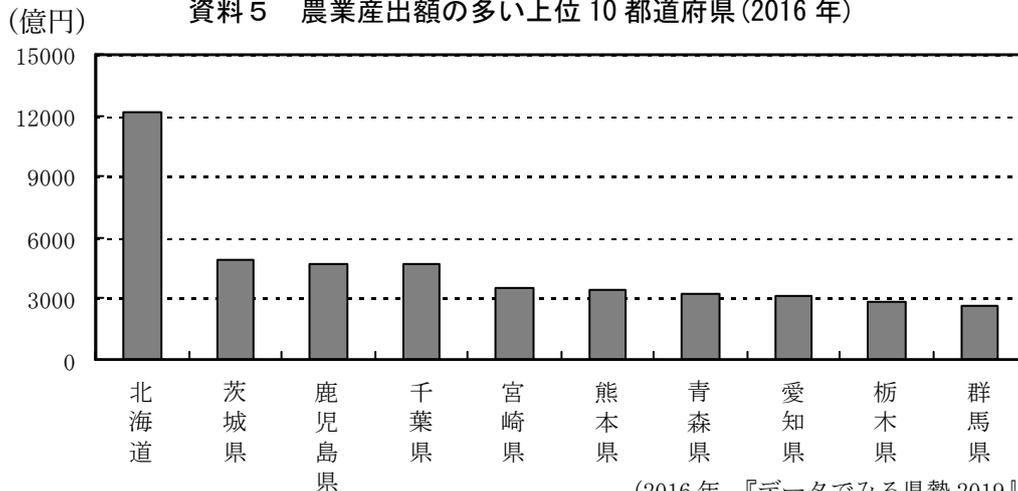
問題1 ——線部1について、資料1～資料4から読み取れる、京都府とくらべた茨城県の工業の様子を書きなさい。

まなぶ：次に、農業の様子を調べてみよう。茨城県の農業生産額は全国2位だよ。

はるか：茨城県は食料自給率も100%以上になっているよ。

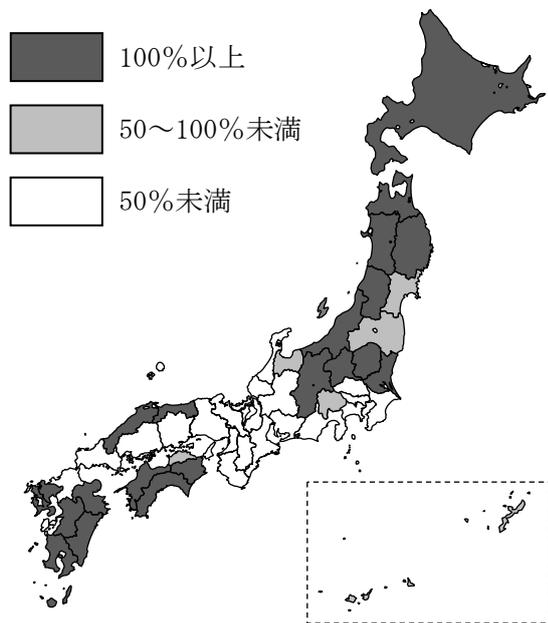
まなぶ：食料自給率は、県内で消費される食料のうち県内で生産された量の割合のことだよ。やはり、資料5に出ている道県はすべて、食料自給率が100%以上になっているのかな。

資料5 農業産出額の多い上位10都道府県(2016年)



(2016年。『データでみる県勢2019』より作成)

資料6 各都道府県の食料自給率



(2016年度概算値。生産額ベース。  
農林水産省の統計より作成)

資料7 農業産出額の多い

上位10都道府県の面積と人口

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(千人)
北海道	78,421	5,320
茨城県	6,097	2,892
鹿児島県	9,187	1,626
千葉県	5,158	6,246
宮崎県	7,735	1,089
熊本県	7,409	1,765
青森県	9,646	1,278
愛知県	5,173	7,525
栃木県	6,408	1,957
群馬県	6,362	1,960

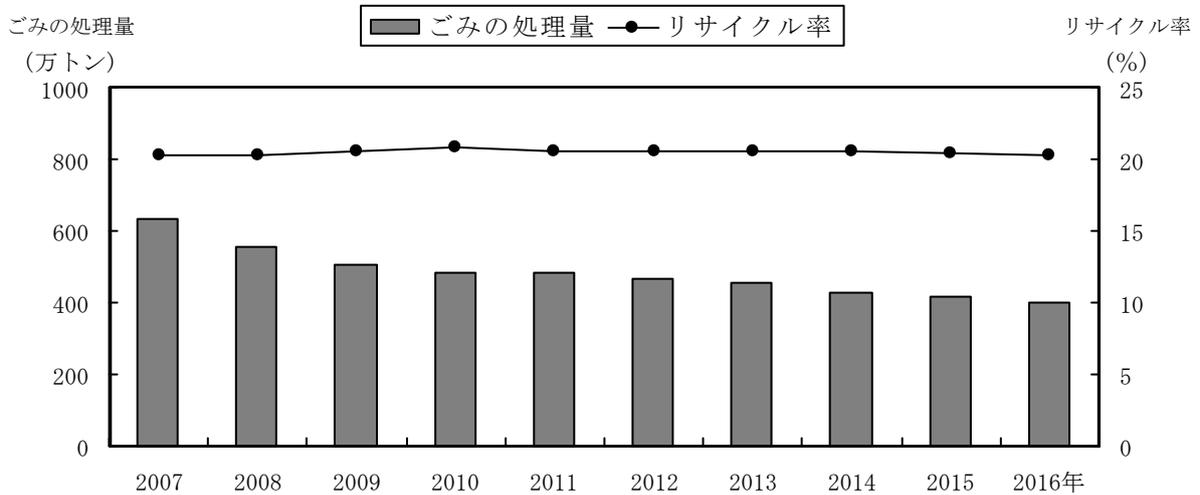
(2017年。『データでみる県勢2019』より作成)

**問題2** ——線部2の考えは正しくありません。食料自給率が100%未満である2つの道県を挙げ、それらの道県の食料自給率が100%未満である理由として考えられることを書きなさい。なお、理由は資料から読み取れることをもとに考えること。

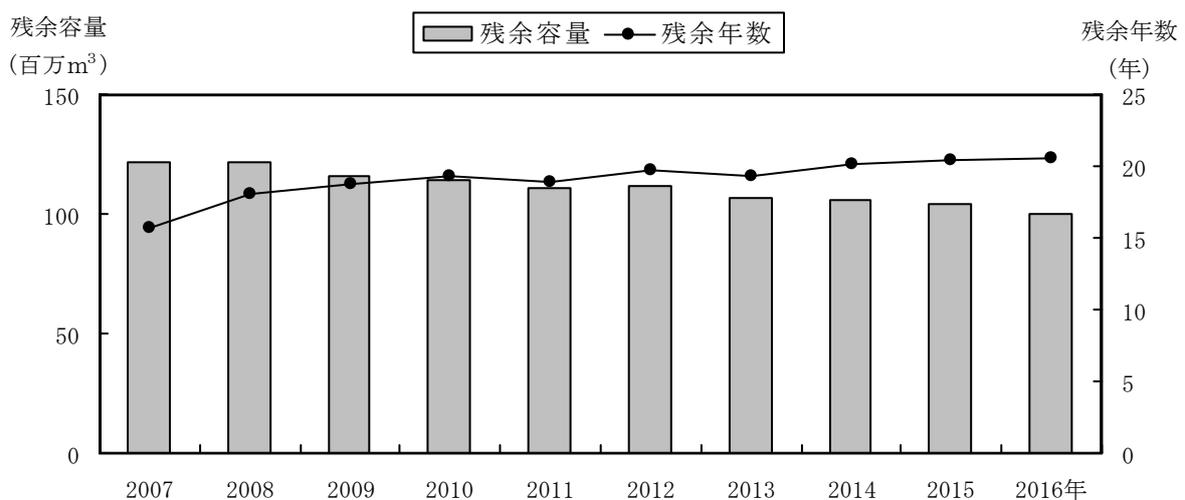
まなぶ：オリンピックなどの大きなイベントでは、ごみの発生が問題になることがあるよね。

はるか：そうだね。また、ごみは毎日出るものだし、ふだんからも考えなければいけない問題だと思うな。資料8～資料10からは、課題が見えてくるよ。

資料8 日本のごみの処理量とリサイクル率



資料9 日本のごみの最終処分場



(残余年数は処分場が満ぱいになるまでの残り期間。資料8・9ともに環境省の資料より作成)

問題3 ——線部3について、どのような課題があるでしょうか。資料8～資料10から読み取れることを、2つの点で90字以上100字以内で書きなさい。ただし、「,」や「。」も1字に数え、文字に誤りがないようにしなさい。

資料10 リサイクル率の高い国(%)

アイルランド	78
スイス, スウェーデン	74
ドイツ	73
オランダ, ニュージーランド	72
ノルウェー	71
オーストリア, フィンランド	70
<small>だいかんみんこく</small> 大韓民国	69

(外務省ホームページより作成)

まなぶ：日本を訪れる外国の人の中には、武士の時代に興味がある人がいると聞いたことがあるけれど、茨城県には、江戸幕府の御三家の一つがあったんだよね。

はるか：水戸徳川家のことだね。

先生：君たち、よく知っていますね。江戸幕府は初代将軍徳川家康によって開かれ、2代秀忠、3代家光と将軍職がつがれていきました。この家系を将軍家といいます。この将軍家とは別に、家康の9男義直、10男頼宣、11男頼房がそれぞれおこした尾張徳川家、紀州徳川家、水戸徳川家のことを御三家と呼んでいます。

まなぶ：江戸幕府は大名を親藩・譜代・外様の3種類に分けたと習いました。

先生：親藩は徳川氏一門のもので、中でも御三家は重んじられていました。譜代は徳川氏伝統の家臣が大名となったもの、外様は関ヶ原の戦い以後に徳川氏に従ったものです。

はるか：資料11の石高とは何ですか。

先生：領地内でとれる米の生産量と考えてよいでしょう。加賀百万石といわれた前田氏は、全国で最も石高が多い大名でした。数万石しかない大名が多かったことを考えると、百万石という数字がいかにすごいものだったかわかります。

まなぶ：外様に対するあつかいは、親藩や譜代とはちがったのでしょうか。

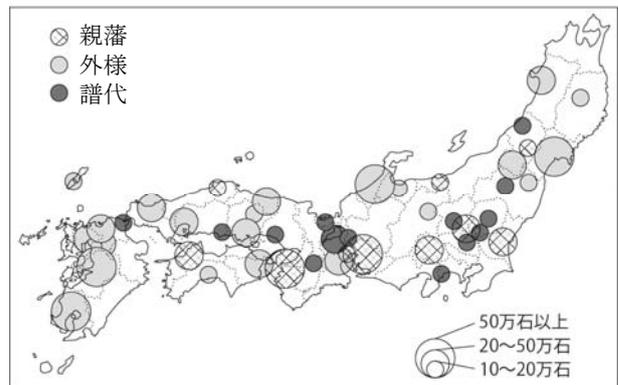
先生：たとえば、譜代は、大老・老中・若年寄などの幕府の要職につくことができましたが、外様がそのような要職につくことはほとんどなかったようです。

はるか：幕府は、大名統制にかなり力を入れていたのですね。

先生：そのとおりです。2代将軍秀忠のときに定められた武家諸法度は大名が守るべききまりですが、これに違反した大名に対しては、藩を取りつぶしたり、領地がえをしたりして処分を行いました。

まなぶ：大名にとってはきびしい世の中だったのですね。

資料11 17世紀中ごろの大名配置図  
(石高が10万石以上の大名のみ)



問題4 江戸幕府は外様に対して、どのような考えのもとに、どのような政策をとりましたか。会話文と資料11からわかることをまとめて書きなさい。

たかさんの学級では、国語の時間に、文章を読んで話し合いをしたり、作文を書いたりしています。

先生：今日は、俵万智さんが書いた「りんごの<sup>なみだ</sup>涙」という文章を読んでみましょう。

たかし：おもしろい題名ですね。りんごが泣くのでしょうか。

\*

青森県でりんごを栽培しているという女性と、ある会合で一緒した。その日は東京にお泊りになるとのこと。宿がたまたま私の住んでいる町と同じ方向だったので、帰りも一緒に地下鉄に乗った。

自分のことを「りんご園のおかみ」とその人は言う。小柄で、どこか少女を思わせる<sup>ふたえ</sup>二重まぶたの目。おっとりとした話し方なので、その「りんご園のおかみ」という言葉も、なにか<sup>すてき</sup>素敵な絵本の中の言葉のように、ロマンチックに<sup>ひび</sup>響いた。

今年<sup>ことし</sup>は天候が不順で心配だというような話をしながら、ふとその人は何かを思いついたらしく、いたずらっぽい目で私を見る。

「そうだ、あなたに質問してみよう」

「えっ、何ですか」

「りんごの花で布を染めると、どんな色になると思います？」

本物のりんごの花を、私は見たことがない。写真か何かで、たしか白っぽい花だったように記憶している。まるで<sup>きおく</sup>根拠はないが、なんとなく<sup>あわ</sup>淡いピンクかなという気がして、そう答えた。

「うふふ、正解はこれ」

ハンドバッグの中から取り出された一枚の<sup>もめん</sup>木綿のハンカチ。広げると、うすい黄色にうすいきみどり色を混ぜてやわらかくしたような色だった。幼いころ、<sup>かぜ</sup>風邪をひくと必ず母が食べさせてくれた、すりおろしたりんごの色にも似ている。そんな記憶もあいまって、私はしばらく、うっとりとそのハンカチを見入ってしまった。りんごの<sup>ひ</sup>浴びた陽ざしがハンカチにも吸収されて、それが内側からやさしく光っているような感じである。

「きれいですねえ」

やや間の<sup>ぬ</sup>抜けたタイミングで私がそう言うと、その人は<sup>うれ</sup>嬉しそうにほほえんで、またきちんとたたみなおす。その手つきのやさしさは、りんごへの愛情をごく自然に感じさせた。

「私ね、これ、りんごのなみだ色って呼んでいるの」

「えっ、なみだ色？」

「そう。なみだ色」

その時、はかりしれない苦勞がちらりと、「りんご園のおかみ」の顔を横ぎったように思われた。花の咲くよろこび、収穫しゅうかくのよろこび。けれどそこに至るまでには、数えきれない涙が流されている——そういう意味だろうか、と思った。が、そういう意味ですか、とは聞けなかった。具体的にどういう涙ですか、とも問えなかった。それを表面に出さないところが、その女性の魅力みりよくのように思われたから。そういう涙は木綿にしっかり吸わせて、美しいハンカチにして、ハンドバッグにしのばせておく。涙の意味は、決して言葉にはならないだろう。

私には、なみだ色のハンカチがあるだろうか、とふと思った。

りんごの花の咲く季節には、まだ遠い。

\*

たかし：「りんごのなみだ色」という言葉に対する俵さんの受け止めかたがすごいですね。

ゆかり：「りんご園のおかみ」が、りんごの花で染めた色と言わないで、「りんごのなみだ色」と表現したことで、考えが広がったのでしょうか。

先生：では文章の題名にもなっている「りんごの涙」を、俵さんはどのようなものだととらえているのでしょうか。

のぼる：ぼくは、「りんご園のおかみ」が、だと俵さんはとらえていると思います。

さちこ：「りんごのなみだ色」のハンカチにつまんでいる、「りんご園のおかみ」の思いを感じとったことで、「りんごの涙」という表現になったのですね。

先生：そうですね。「りんご園のおかみ」にとっての「りんごの涙」と言えるようなものが、みなさんにも思い当たるのではないのでしょうか。

**問題 1** 会話が成り立つように、に入る内容を、40 字以上 50 字以内で書きなさい。ただし、「,」も 1 字に数え、文字に誤りがないようにしなさい。

**問題 2** あなたにとっての「りんごの涙」に当たるものを、具体的な経験を入れて、100 字以上 120 字以内で書きなさい。ただし、「,」や「。」も 1 字に数え、文字に誤りがないようにしなさい。

めぐみさんたちのクラスでは、学級新聞を発行することになりました。毎回決まったテーマで連載するコーナーを作ることになり、そのテーマについて、A～Dの4つの候補の中からどれにするかを話し合っています。資料1は学級新聞についての先生のお話、資料2は学級新聞作りについてのクラスメイトの意見、資料3はめぐみさんの学校全学年で行われたアンケートの結果です。

### 【4つの候補】

- A クラスで人気の本やゲームのランキング
- B 東京オリンピックで行われる競技の紹介
- C 他クラスや他学年の先生へのインタビュー
- D 読者のなやみに答えるおなやみ相談室

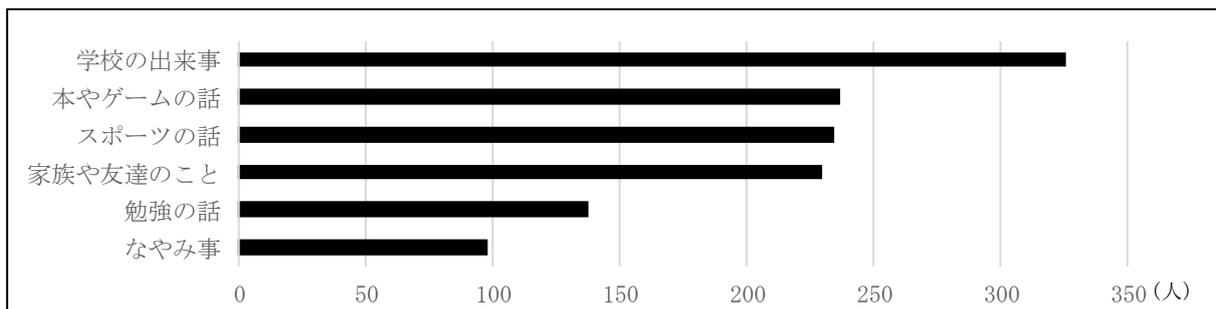
#### 資料1 学級新聞についての先生のお話

学級新聞は、毎月1回、教室前の廊下に掲示します。だれでも見ることができますから、このクラスの仲間以外の人にとっても楽しめる内容や書き方を心がけましょう。すでに知っていることだけを書くのではなく、調べ物や取材などをすると内容が深まります。ぜひ楽しみながら作ってください。

#### 資料2 どのような学級新聞にしたいか

- ・読んだら楽しい気分になる新聞にしたい。
- ・みんなが興味を持ちそうな内容にしたい。
- ・季節感や話題性のあることを書きたい。
- ・読者も参加できるような企画を入れたい。
- ・新しいことを知る機会にしたい。
- ・絵や図などを使って読みやすくしたい。

#### 資料3 友達や家族とおしゃべりするときの話題（複数回答）



**問題** あなたがめぐみさんだったらどの候補を選んで発言しますか。A～Dの4つの候補の中から一つ選び、選んだ理由を説明しなさい。選んだテーマの記号を解答用紙に記入すること。また、資料1～3のそれぞれから読み取ったことをもとに、選んだ理由を80字以上100字以内で書きなさい。解答は、「なぜなら、」で始め、「なぜなら、」も字数に数えること。